



～新総合計画2年目～

コロナを越えて新たな復興創生ステージへ

反**転****攻****勢**

令和4年度 当初予算の概要



目次

- I 予算の規模
- II 令和4年度の主要プロジェクト
- III 将来にわたり持続可能な財政運営の推進(資料編)

I 予算の規模

1. 令和4年度一般会計当初予算額

1,159億円

対前年比 +36億円 +3.2%

世界にエールを送るまち ふくしま



2. 会計別の当初予算額

(単位:千円)

会計名	令和4年度	令和3年度	対前年度比較	
			増減額	増減率 (%)
一般会計	115,900,000	112,300,000	3,600,000	3.2
除染関連事業を除く 実質的な当初予算	112,660,000	108,084,000	4,576,000	4.2
国の補正に呼応した 3月補正前倒し含む当初予算	113,201,497	110,462,936	2,738,561	2.5
特別会計	56,439,779	56,112,667	327,112	0.6
水道事業会計	11,214,478	10,471,515	742,963	7.1
下水道事業会計	14,178,487	12,840,855	1,337,632	10.4
農業集落排水事業会計	283,317	283,858	△541	△ 0.2
合計	198,016,061	192,008,895	6,007,166	3.1

特徴(一般会計)

除染関連事業費(32.4億)を除く実質的な当初予算額は7年連続の増加となり、過去最高の積極型予算です。

Ⅱ 令和4年度の主要プロジェクト

当初予算の主な事業について紹介します。



新 …… 新規事業

拡 …… 一部新規及び事業の拡充

(最優先課題)コロナを越える

1. 新型コロナ対策とコロナ後を見据えた変革

(福島未来をひらく)4分野

2. 安全安心なまちづくり

3. 子育てと教育で選ばれるまちづくり

4. 将来にわたり持続可能な産業の創出

5. 心豊かに楽しめる賑わいと文化の振興

(すべての分野へ)2つの取り組み

6. 人にやさしいデジタル化

7. 移住定住の促進、女性活躍社会の形成

開かれた市政・スピードと実行

8. 地域経営のリノベーション

1. 新型コロナウイルス対策とコロナ後を見据えた変革

39事業 37億8,066万円

(1) 感染防止対策

- ・新型コロナウイルス検査、医療、ワクチン接種体制の充実を図ります。
- ・保育所・学校等での感染防止対策を充実します。

検査・医療・ワクチン接種体制の充実

拡 迅速な新型コロナワクチン接種

3回目のワクチン接種をできる限り前倒しして、円滑に進めます。



1,480,731千円

○ PCR検査体制の拡充

495,500千円

○ 新型コロナ診察医療機関への支援

65,585千円

- PCR検査専用外来運営費用助成
- 2次外来特別給付金
- 医療再生支援金(院内感染発生時対策)
- 医療資材の調達支援

○ 夜間急病診療所等受け入れ体制の強化

2,937千円

感染防止対策の支援

○ 子育て支援施設

136,450千円

- 保育所・幼稚園等における消毒用アルコールなど衛生用品の購入費用の支援

○ 学校

84,427千円

- 消毒用アルコールなど衛生用品の購入 (うち3月補正前倒し79,200千円)
- 校外活動実施に向けた対策

公共施設の対策

○ 公共施設・避難所・福祉避難所

26,165千円

- 消毒用アルコールなど衛生用品の購入など

(2) 市民生活支援

- ・家計急変者への自立支援や妊産婦へのサポート体制を強化します。
- ・市民や事業者への適切な情報発信を行います。

○ 住民税非課税世帯等臨時特別給付金

500,000千円

○ 生活困窮者自立支援金

50,000千円

○ 新型コロナ入院医療費公費負担

80,080千円

拡 迅速かつ的確な情報発信、保健所体制の強化

19,608千円

産前・産後の支援

○ 妊婦PCR検査支援

26,000千円

拡 産前・産後サポート体制の強化

11,526千円

(3) 地域経済対策

・中小企業の資金繰りや地域公共交通事業者の事業継続支援、中心市街地での新たな事業展開や新型コロナに対応した活性化イベントの開催支援など、コロナで経済的影響を受けた業種への下支えを講じます。

○ 緊急経済対策資金融資制度利子補給

12,515千円

○ 地域公共交通支援

218,000千円

新 ふくしま米消費喚起(米粉パンの給食利用)

6,000千円

拡 街なか空き店舗入居者家賃補助

76,483千円

拡 商店街等活性化イベント支援事業

40,000千円

新 デジタルスタンプラリーの開催

23,203千円

(うち21,000千円は12月補正で予算計上済)

1. 新型コロナ対策とコロナ後を見据えた変革

(4) コロナ後を見据えた変革

- ・コロナ後を見据え、新たなビジネスモデルの創出や他分野への進出などのチャレンジを後押しするほか、テレワークをはじめとする、時間・空間などにとらわれない柔軟な働き方、暮らし方の定着を目指します。
- ・行政のデジタル化、市民サービスのデジタル化の取組を進めます。

新たな暮らし方・働き方の創出

拡 新たなビジネスモデル創出支援 感染防止対応枠(補助率1/2)、デジタル化推進枠(補助率2/3)に加え、開業から1年未満である事業者向けの新規創業枠を設け、コロナ禍に対応できるビジネスモデルの構築を支援します。	50,000千円
拡 「ゆとり満喫福島オフィス」開設支援	13,657千円
新 クリエイティブビジネスサロン運営 シェアオフィス・コワーキングスペースを備えたビジネス交流拠点となる「クリエイティブビジネスサロン」を開所し、新たなビジネススタイルを支援します。	21,983千円
新 ふくしまフィールド人材交流事業 移住定住の促進	1,000千円
拡 移住定住推進パッケージ	97,734千円



行政のデジタル化

○ 文書管理システムの運用	24,144千円
拡 会議のオンライン化	18,878千円
拡 ICT人材育成	3,578千円

市民サービスのデジタル化

○ 公共施設予約システム運営	28,126千円
○ 窓口手数料のキャッシュレス化	3,960千円
拡 電子町内会活動促進	3,966千円
○ 幼稚園、保育所、認定こども園業務のICT化	14,573千円
新 入札業務のデジタル化(電子入札)	56,589千円
新 窓口手続きのデジタル化 ウェブやスマホからわかりやすく手続きを案内します。 マイナンバーカード等を活用し、申請書に氏名等を自動で印字します。	948千円
拡 LINEによる相談・講座の予約	7,969千円
○ 相談業務のオンライン化	5,904千円
新 電子図書館の開設	47,400千円
○ オンライン家庭学習支援	1,500千円
拡 ももりんシェアサイクル運営	21,077千円
新 高齢者・初心者向けスマートフォン講座開催	2,460千円



2. 安全安心なまちづくり

60事業 243億3,872万円

(1) 災害対策の強化

- ・災害に強い社会インフラ整備、情報収集伝達体制の強化や地域のコミュニティ形成、降雪に対する対策の強化など、災害に強いまちづくりを進めます。
- ・消防団を中核とした地域防災力の強化を図り、多様な連携による避難体制を構築します。

水害対策パッケージ

(主なもの)

- 災害対策オペレーションシステムの運用
- 新** 危機管理型水位計との連携
- 立地適正化計画の推進
- 河川強靱化(浸水対策)
- 拡** 祓川、瀬上中川原樋管浸水対策
- 農業水路等長寿命化・防災減災事業



935,914千円
(うち3月補正前倒し52,000千円)

災害時における要援護者支援パッケージ

～水害時逃げ遅れゼロを目指す！～

(主なもの)

- 拡** 避難行動要支援者名簿・個別避難支援プランの策定
- 拡** 福祉避難所・要配慮者施設避難確保計画の整備
- 地区防災計画の推進



40,496千円

新 防災意識醸成・危機対応力向上

幅広い年代を対象としたリモート動画の作成や防災運動会の開催など、防災に触れる機会を創出します。



3,950千円

- 災害に強いインフラ整備(橋梁長寿命化) 690,000千円
- 住宅耐震化・ブロック塀撤去促進 22,645千円
- 新** 田んぼダム機能検証(新たな流域治水対策) 1,500千円

除雪力強化パッケージ

拡 令和3年度大雪対応への経験を教訓として、「雪害」への総合的な対策強化を図ります。

(主なもの)

- 凍結防止剤散布車の追加(3台⇒5台)
- 市民への貸出用具の充実
- 除雪機械オペレーターへの技術力向上支援
- 除排雪経費の追加

127,270千円

(2) 消防力の充実強化

・消防団を中核とした地域防災力の充実強化と、緊急時の対応力及び復旧力の向上を図ります。

- 拡** 消防団員出動報酬の改定
従来の費用弁償を出動報酬に改め、支給額を増額します。
- 拡** 高規格救急自動車整備
- AEDサポート事業所との連携



3,564千円

41,579千円

197千円

2. 安全安心なまちづくり

(3) 共生社会の推進

バリアフリーの推進

・子どもから高齢者、障がいのある人など、だれもが地域で安心して暮らせるよう、ハード面に加え、心のバリアフリーなどのソフト面にも取り組みます。

拡 バリアフリー推進パッケージ

42,141千円

- ヘルプマーク・ヘルプカード普及推進
- いきいき！ふくしまマーケット開催
- ボッチャ普及推進

新 心のバリアフリーに関するキャッチフレーズ募集

- 歩道点字ブロック・シート設置
- バリアフリー基本構想策定



拡 包括的支援体制の整備

757,157千円

対象者の属性を問わない相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に実施します。

障がい児・者福祉の推進

拡 障がい福祉サービスの充実

4,912,238千円

○ 自立支援医療費

300,971千円

拡 計画相談支援推進

24,000千円

○ こども発達支援センターの運営

48,007千円

○ 障がい福祉サービス事業所施設整備補助

140,690千円

多文化共生の推進

・“市民一人ひとりがお互いに認め合う、多様性を尊重したまち”を目指し、外国のこども日本語サポート推進事業や国際交流事業など、外国人にも暮らしやすい多文化共生社会を目指します。

○ 外国人生活相談

外国人のためのワンストップ生活相談窓口を開設し、日常生活の相談や行政手続きのサポートを行います。



4,770千円

○ 国際交流員配置

6,370千円

拡 外国のこども日本語サポート推進

外国にルーツを持つ子どもの学校生活適応に向け、重層的な支援を行います。



3,057千円

○ 結・ゆい・フェスタ開催

2,400千円

○ 国際交流事業支援

2,000千円

新 公立夜間中学の開設に向けた準備

300千円

動物との共生

拡 動物愛護推進

譲渡時、新たにマイクロチップの装着とフィラリア症等の検査を実施します。



18,717千円

新 ペット同伴避難所の充実

3,000千円

2. 安全安心なまちづくり

(4)『健都ふくしま』の創造

・「一人ひとりの健康を応援する環境づくり」「地域の健康づくり」「職場の健康づくり」を三本柱として、人生100年時代を見据えた健康づくりを推進します。

一人ひとりの健康を
応援する環境づくり

地域の健康づくり

職場の健康づくり

- 拡 健都ふくしま創造事業 17,934千円
- 特定健康診査の推進 245,989千円
- 拡 定期予防接種の推進 917,794千円
従来の定期予防接種に加え、子宮頸がんワクチンの積極的勧奨再開に伴い、接種機会を逃していたH9～16年度生まれの女性に対するキャッチアップ接種を実施します。
- 新 健康づくりで競争(共創)チャレンジ 2,352千円
健康づくりに熱心な地域に、まちづくりのための資金を加算し、さらなる健康づくりを推進します。



(5)『高齢者の元気』の創造

- 新 介護人材確保による介護サービスの安定 7,470千円
- いきいきももりん体操講座、体操伝道師養成 2,942千円
- 拡 シルバー人材センター活動支援 9,648千円
会員のICT利活用の促進や有償ボランティア事業の創設など元気高齢者の活躍の場づくりを支援します。
- 地域包括ケアシステムの推進 501,260千円
- 高齢者の路線バス等利用促進 206,412千円
- 介護保険・後期高齢者医療費負担 7,708,235千円

(6)地域医療の充実

・救急医療、医師確保対策など、福島県立医科大学や市医師会・医療機関と連携し地域医療体制の充実を図ります。

救急医療体制の充実

- 拡 救急告示病院運営費補助 213,518千円
- 拡 休日夜間輪番制救急医療体制確保事業 110,357千円
新たに土曜日の午前も輪番体制を組み、市内11の病院で、二次救急医療体制を確保するための費用を補助します。
- 福島県立医科大学との連携 63,000千円
(寄附講座)
市内の二次救急医療機関に福島県立医科大学の医師を派遣し、実地研修や研修医を対象とした研修会の実施により、救急医療体制の基盤強化を図ります。
- 新 救急搬送体制の強化 7,578千円
救急車に12誘導心電図伝送装置を配備し、リアルタイムに心電図を病院と共有し救急患者の救命率向上を目指します。(県内初)



- 夜間急病診療所運営 216,084千円
- 茂庭診療所運営 3,275千円
- 休日救急歯科診療所運営 29,065千円
- 休日在宅当番医制運営 5,293千円
- 医師・看護師確保、臨床研修支援 8,860千円

2. 安全安心なまちづくり

(7) ゼロカーボン都市の推進

・豊かな環境を未来に引き継ぐため、福島らしい再生可能エネルギーの生産と活用を推進します。

新 水素活用の普及推進

FCV（水素自動車）の普及を図るため、市独自に最大20万円を補助します。



2,298千円

拡 次世代自動車普及推進

1,551千円

拡 環境に配慮した公用車(エコカー)導入

市の公用車への電気自動車やハイブリッド車の導入を進めます。充電にはあらかじめクリーンセンターのバイオマス発電を利用します。

21,235千円

拡 ふくしま環境基本計画推進

脱炭素化に向けた取り組みやごみ減量化など環境に関する内容を広く発信するポータルサイトを開設し、行動変容を促します。



1,292千円

○ ふくしま環境フェスタ開催

1,200千円

○ 次世代エネルギーパーク推進

718千円

新 再生可能エネルギー(小水力)導入促進

小水力発電のポテンシャル調査費用を補助します。(補助率1/3 上限50万円)

1,000千円

○ 脱炭素住宅整備促進

脱炭素住宅整備費用の一部を補助します。

- ・太陽光発電システム 4万円
- ・蓄電池またはV2H機器 10万円
- ・HEMS(ホームエネルギーマネジメントシステム) 1万円



33,400千円

○ 再生可能エネルギー等施設整備資金利子補給

1,841千円

(8) 生活環境の整備

・地域や関係機関と連携し、市民が快適な生活を営み続けるための環境整備を行います。

○ ごみ減量化促進対策

17,411千円



市民1人1日あたりの生活系ごみ排出量(資源物除く)を530g以下とすることを目標に、ごみ減量化・資源化を促進します。また、ダンボールコンポスト購入費助成など、生ごみの減量化を促進します。

○ ごみ集積所適正管理の推進

620千円

ごみ集積所のごみ散乱を防止し、地域環境の美化及びごみ処理の適正化を推進します。

拡 ムクドリ・カラス対策

2,030千円

LED照明や音声再生装置を活用し、街なかのフン害対策を講じます。

○ あぶくまクリーンセンター再整備

36,063千円

○ 衛生処理場改修

636,522千円

○ あぶくま・あらかじめクリーンセンター運営

1,931,793千円

(9) 仮置場の原状回復

・中間貯蔵施設への輸送が完了した仮置場の原状回復を行います。
・個別の事情により、除去土壌の搬出が未了となっている箇所現場保管を解消します。

○ 除去土壌搬出等推進

3,240,000千円

3. 子育てと教育で選ばれるまちづくり

33事業 135億6,066万円

(1) 子育て支援の充実

・保育所・学童クラブの待機児童ゼロの定着を目指すほか、子ども・子育て支援の新ステージ2020推進事業など、子育て世代の多様なニーズに応える事業を展開し、「子育てと教育なら福島市」と称されるまちを目指します。

子育て環境の整備

拡 待機児童対策推進パッケージ

285,867千円

(主なもの)

拡 保育士するなら福島市！プロモーション

- 輝け！保育人財活躍促進
- 保育士宿舍借り上げ支援

拡 保育支援員雇用支援

拡 幼稚園送迎ステーションの運営

- UIターン保育士等就労支援

拡 保育士等奨学資金貸付

- 保育アテンダント



○ 子育て施設の運営

8,232,334千円

拡 保育所等における事故防止推進

11,117千円

拡 放課後児童クラブの運営

721,462千円

(R3:91クラブ ⇒ R4:95クラブへ)

○ 地域子育て支援拠点の運営

237,932千円

拡 子ども食堂運営支援

3,880千円

新 おたふくかせ予防接種費用助成

7,327千円

子ども・子育て新ステージ2020推進事業

○ 福島型給食の推進

323,602千円

地産地消をより強く意識したメニューや、子どもたちの思い出に残る給食を実施します。



○ 休日保育の実施

9,351千円

○ 放課後児童クラブ支援員等処遇改善

155,232千円

○ 放課後児童クラブ多子世帯利用料補助

37,776千円

○ 特色ある幼児教育・保育の推進

12,726千円

○ 保育施設多子世帯負担軽減補助

56,356千円

○ 病児・緊急対応の強化

11,500千円

参考 無償化による負担軽減額
17億4,290万円

新 保育の質向上に向けたガイドラインの作成

140千円

新 保育士等の処遇改善



297,902千円

3. 子育てと教育で選ばれるまちづくり

(2) 教育の充実

・福島型オンライン授業の充実、読解力の向上と読書習慣の定着に向けた図書の実施、不登校児童生徒の支援体制の拡充、学校施設の改修など、地域の将来を担う子どもたちの健やかな成長と質の高い学びを支えます。

学校教育の質向上

- 拡** 福島型オンライン授業
新たにデジタル教科書も導入し、ICTを活用した新たな学びを日常的に授業に取り入れます。 485,531千円
 - 読解力向上推進
リーディングスキルテストを実施し、結果を踏まえた調査研究を通じて、児童生徒の読解力向上を目指します。 3,840千円
 - 中学生ドリームチャレンジ
福島型の特色ある教育を目指すため、講師に著名人を招く「キャリア教育部門」と「部活動部門」のモデル事業を実施し、可能性に挑戦する子どもを育成します。 4,600千円
 - ふくしまっ子未来トーク開催 290千円
 - 頑張るふくしまっ子復興夢応援 2,000千円
 - 中学生ドリームアップ(キャリア教育の推進) 8,619千円
 - 外国語教育推進 111,519千円
 - 学力向上サポート 11,718千円
 - 拡** いじめ・不登校対応推進 18,787千円
 - 特別支援教育推進 162,416千円
- 

学びの環境の充実

- ・地域の将来を担う子どもたちに、大切にされていると実感してもらえる学びの環境を提供します。
- 拡** 小・中学校屋内運動場改築 (4校(瀬上小、余目小、西信中、渡利中)) 913,840千円
 - 拡** 松陵中学校(松川地区義務教育学校)改築 379,824千円
本市初の義務教育学校開校へ向け改築工事に着手します。(令和7年4月開校予定)
 - ふくしま支援学校校舎等改築 612,937千円
 - 新** 学校施設リフレッシュ 368,800千円
校舎の外壁など、改修をスピードアップします。また、施設の改築・長寿命化に向けた調査に着手します。
 - 拡** 新学校給食センター整備 50,561千円
北部・西部給食センターと、一部の単独校を統合した新たな給食センターの整備(PFI方式)に着手します。(令和7年4月稼働開始予定)
 - 学校図書館の図書整備 17,838千円
 - 拡** 子どもの学習・生活支援 3,039千円

4. 将来にわたり持続可能な産業の創出

30事業 14億6,826万円

(1) 農林業の振興

- ・スイーツ・プレミアム事業、果実プロモーションの展開により、本市農産物の販売拡大とブランド力向上を図ります。
- ・新規就農支援により、本市農業を担う人材確保に取り組みます。
- ・農林業の振興及び農作物への被害対策を強化し、持続可能な農業の振興を図ります。

販売拡大・ブランド力向上

○ スイーツ・プレミアム事業	14,700千円
認証品のPRを首都圏や新しい道の駅を中心に実施し、本市イメージの向上と地域経済の活性化を図ります。	
○ 果物等プロモーション	2,794千円
○ 農産物を活用した食品加工の産業化	3,113千円
拡 福島駅前軽トラ市開催	10,000千円
新 市場開設50周年記念イベント開催	1,798千円



新規就農支援

拡 新規就農支援パッケージ 92,011千円

- 新規就農オンライン相談
- 農業体験支援
- 農業経営開始支援
- 農業用機械等導入支援
- 農業メンターによるサポート
- 農業次世代人材育成
- 農地流動化支援



農林業の振興と被害対策

拡 鳥獣被害対策強化	67,526千円
イノシシ被害対策として1,200頭の捕獲対策を講じます。また、鳥獣被害対策実施隊員に新規に加入する隊員に対して、狩猟免許取得費用の一部を補助します。	
○ 農業経営安定化支援	4,700千円
新 地域を守る集落営農組織支援	300千円
新 農業経営継承支援	5,000千円
○ スマート農業推進	500千円
○ 福島大学食農学類との連携	2,420千円
新 果樹剪定枝活用実証実験	650千円
果樹生産者と剪定枝をストーブ等で有効利用する方をマッチングします。また、市内の教育機関や農業者団体との共創により、剪定枝を“炭”に変え、土壌改良材として活用する実証実験を行います。	
○ 森林経営管理計画の推進	21,090千円
○ ふくしま森林再生事業	149,818千円
○ 公設地方卸売市場の再整備推進	18,968千円

4. 将来にわたり持続可能な産業の創出

(2) 商工業の振興

- ・地元企業の事業承継や新分野へのチャレンジ、新規創業者を支援し、商工業の振興を図ります。
- ・積極的な企業誘致を行い、福島らしい産業の集積を進めます。

地場企業の振興

- 新** 特定集積産業事業拡大強化支援 15,000千円
 食品加工業や健康関連産業など本市の特定集積産業分野で新技術の開発や・生産強化にチャレンジする事業者を支援します。
- 医産連携推進 20,056千円
 市内中小企業が実施する医療福祉機器関連の製品化や研究開発の費用の一部を補助します。
 (補助率2/3 上限5,000千円)
- 拡** 若手ものづくり後継者育成(夢創塾) 1,000千円
- 新規創業者等支援 3,595千円
- 拡** 創業応援利子補給パッケージ 4,814千円

1) 創業応援利子補給	創業融資に係る利子を1年間補助 中心市街地での創業は2年間補助 R4からは、第二創業者(2年間)を対象者として追加
2) 女性の創業応援利子補給	創業融資に係る利子を2年間補助
- 中小企業振興預託金 865,000千円
- 中小企業信用保証料補助 39,300千円
- 拡** 新たなビジネスモデル創出支援(再掲) 50,000千円

企業誘致の推進

- 企業誘致トップセールス 1,000千円
- 企業誘致推進 4,537千円
- 企業立地セミナー開催 3,300千円
 全国的に評価を受けたオンラインセミナーと、関西地区でのリアルセミナーを開催します。
- 拡** 「ゆとり満喫福島オフィス」開設支援(再掲) 13,657千円

福島おおぞらインター工業団地 第2期始動

- 拡** 第2期工業団地整備 50,400千円

第1期分譲地の完売を受け、令和6年度
 の分譲開始を目指し、実施設計に着手
 します。

【第2期 全体計画】

- ①開発面積 約20ha
- ②用地取得面積 約19ha
- ③分譲面積 約16ha



- 福島おおぞらインター工業団地PR 1,217千円

5. 心豊かに楽しめる賑わいと文化の振興

43事業 70億6,513万円

(1) 街なかの活性化

・中心市街地への交通手段の充実、商住環境の整備を行い、中心市街地の賑わい創出や交流人口の増加を図ります。

新 街なかにぎわい創出

エスタビル地下1階に移転する街なか交流館を拠点に、ストリートピアノを設置する駅前地下歩道と一体的に活用することでにぎわいの空間を創出します。

また、学生のまちづくり活動を支援します。

46,928千円

新 まちなか広場リニューアルオープン

賑わい・市民交流・回遊軸の拠点、防災広場として、まちなか広場が8月にリニューアルオープンします。



7,265千円

拡 街なか空き店舗出店支援

76,483千円

家賃補助制度を充実し、空き店舗の活用と街なかのにぎわい創出を図ります。

対象エリア	区分	補助率		
		1年目	2年目	3年目
中心市街地 空き店舗 重点対策地域	1号店 (新規創業)	10/12	7/12	4/12
	2号店以降	8/12	6/12	4/12

拡 商店街等活性化イベント開催(再掲)

40,000千円

活性化を図るイベントの開催に対して補助します。(上限50万円)
また、パセオ通りを中心としたイベントを開催し、賑わいを創出します。

新 クリエイティブビジネスサロン運営(再掲)

21,983千円

○ パークアンドライド実証実験

4,000千円

拡 ももりんシェアサイクル運営(再掲)

21,077千円

(2) 中心市街地のまちづくりと 公共施設の再編整備

・「風格ある県都を目指すまちづくり構想」に基づき、中心市街地のまちづくりを推進するとともに、公共施設の再編整備を進めます。

拡 福島駅東口地区市街地再開発支援

5,038,000千円

○ 福島駅前交流・集客拠点施設整備

32,071千円



事業の核となる福島駅東口の再開発事業を国・県とともに支援します。

また、交流人口を拡大し中心市街地のにぎわい創出を図るため、公会堂・市民会館の再編による新たな交流・集客拠点施設整備について、再開発事業と連携して進めます。

(令和8年完成予定)

拡 (仮称)市民センター整備

410,354千円

中央学習センター・市民会館・敬老センターの機能を統合・複合化した「市民交流機能」のほか、「議会機能」、「防災機能」を備えた施設を整備します。

(令和6年度完成予定)



5. 心豊かに楽しめる賑わいと文化の振興

(3) 古関裕而のまちづくり

- ・連続テレビ小説「エール」の遺産を活用しながら、官民一体で「古関裕而」のまちづくりを推進します。
- ・新たな文化イベントや街なかの仕掛け、さらには古関裕而氏の野球殿堂入りも目指します。

○ エールレガシー事業 34,179千円

連続テレビ小説『エール』をきっかけに認知された『古関裕而のまち福島市』。ロケ地だけでなく「自然景観」「温泉地」「フルーツ王国福島」としての魅力を継続して発信します。



① 被災3県朝ドラ連携おかえりプロジェクト

連続テレビ小説の舞台となった岩手、宮城、福島の被災3県の都市が合同で首都圏に情報発信センター「おかえり館」を設置。

首都圏在住者をターゲットに各地の観光PR、産品販売、移住案内の拠点として、ドラマの舞台地周遊促進やイメージアップを図ります。

② エールドラマセット継続展示

③ ロケ地、まち歩きマップ作成

④ SNSやWEBを活かしたデジタルプロモーション

⑤ NHKドラマガイドへの広告掲載



○ 古関裕而メロディーバス運行

15,755千円

「移動音楽館」をコンセプトに、内装には県産木材を使用し温かみのある空間を演出して、古関メロディーとともに皆さまをお出迎えします。



古関裕而のレガシー活用

○ 「古関裕而記念音楽祭2022」の開催 18,000千円



連続テレビ小説「エール」の出演者やプロの演奏家を招いて、引き続き鑑賞型の音楽祭を「ふくしん夢の音楽堂」で開催します。

新 古関裕而ストリートの活用 2,400千円

メロディーボックスやARスポット等を整備した古関裕而ストリート活用した音楽イベントを開催します。



新 「古関裕而作曲コンクール」の創設 18,000千円



古関裕而氏の名を冠した本市独自の作曲コンクールを創設し、将来の作曲家を目指す次世代を担う若者の育成と、世界へ羽ばたく機会を創出します。

コンクール本選 11/27開催予定

新 古関裕而生誕記念コンサートの開催 1,622千円

○ 古関裕而のまちおもてなし事業 21,484千円

古関裕而記念館来場者をおもてなしするため、無料休憩所の設置等を行います。

拡 「古関裕而のまちふくしまチェンバー・オーケストラ」の活動支援 4,628千円

9月と10月の定期演奏会開催を支援します。

5. 心豊かに楽しめる賑わいと文化の振興

(4) 観光対策の強化

・道の駅ふくしまの運営、本市観光のシンボル『花観光』を推進するほか、連続テレビ小説「エール」に続く、新たな映画やテレビ等のロケ誘致、本市へのさらなる誘客を目指します。

道の駅オープン

新 道の駅ふくしま運営 62,028千円
地域情報の発信や新たな販路開拓の場等を提供し、地域振興の拠点としてにぎわいの創出と交流人口の拡大を図ります。

○ 春の花見山おもてなし 62,098千円

○ ふくしま花回廊推進 2,310千円

本市の観光のシンボルとして花観光を推進します。

- 福島市花観光振興計画のR7目標
- 1.花観光入込数 33万人
- 2.花観光スポットの満足度 90%



新 「ふくしまステイ。」プロモーション 15,000千円
「ちょうどいい旅、ふくしまステイ。」をメインキャッチコピーに首都圏滞在者をターゲットにリアルとデジタルを掛け合わせ誘客を図ります。



ちょうどいい旅、ふくしまステイ。

○ フィルムロケ誘致支援 4,086千円

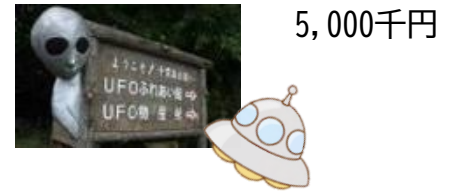
映画やテレビなど、「いい映像作品をつくりたい」という情熱に情熱をもってお応えし、ロケの誘致とロケツーリズムの促進を図ります。



新 あづまエリアツーリズム推進 3,500千円

吾妻山麓に広がる多くの魅力を活用し、誘客と消費促進を図ります。

新 飯野ふれあい施設30周年 5,000千円
UFO研究所開設で国内外から注目を集める中、開設30周年を契機に、新たな誘客コンテンツとしてVR動画の作成と宇宙とのつながりをイメージしたサーチライトを設置します。



温泉地活性化

○ 温泉地活性化推進 15,000千円

新 福島三名湯ブランディング 6,000千円

福島が誇る三名湯について他の温泉地との差別化を図り、全国的な地位向上を目指します。



(5) シティセールス

○ 福島市応援関係人口創出事業 5,807千円

首都圏における本市のファン拡大と関係人口の増加を図るため、本市ゆかりの首都圏在住者・経済人等との交流を行います。

拡 ふるさと納税促進事業 674,938千円

市のまちづくりを全面的に打ち出し、賛同と共感を得ながら本市のファン拡大を図ります。

拡 シティセールス推進事業 2,884千円



福島市の認知度向上とファン拡大を図るため、特設Webサイトの運営と、シティセールスの動画配信を行います。

5. 心豊かに楽しめる賑わいと文化の振興

(6) オリンピック・パラリンピックを契機としたまちづくり

○ オリパラを契機とした健康づくり

(パラスポーツ振興事業)

東京2020パラリンピック大会で注目を集めたボッチャ競技の福島市長杯を開催します。

■ 受動喫煙対策



7,042千円

○ バリアフリー推進パッケージ(再掲)

42,141千円

スポーツのまちづくり

○ スポーツコミッション運営

スポーツ合宿・大会の受け入れやパラスポーツ推進、スポーツ参画機会の提供を担うスポーツコミッションの運営を支援します。

3,238千円

○ スポーツホームタウンにぎわい創出

新 ドリームサッカー開催

元日本代表を招聘した親善試合、少年少女向けのサッカー教室、交流イベントなどを実施します。



15,000千円

3,000千円

新 ふくしまシティハーフマラソン大会開催準備

令和5年「第1回ふくしまシティハーフマラソン大会(仮称)」の開催に向け、著名人を招聘し、コース紹介などを行うイベントを開催します。

3,300千円

○ スポーツ施設整備推進

信夫ヶ丘競技場、十六沼公園スポーツ広場・スケートボードパークの改修など、安全にスポーツを行える環境を整えます。



179,522千円

(7) 歴史・文化と次世代環境が調和したまちづくり

・本市の歴史と文化を活かした特色ある事業を展開し、福島らしい文化の振興を図ります。

○ 文化振興条例の策定

300千円

○ じょーもぴあ宮畑活用推進事業

10,770千円

○ しゃがむ土偶ドキドキ事業

各種イベントの開催やファンクラブ「ぴ〜ぐ〜♡会」の活動により「しゃがむ土偶ぴ〜ぐ〜」の魅力を広く発信します。



4,445千円

○ 写真美術館の活用推進

秋山庄太郎写真展の開催など、大正時代に建てられた近代建築の遺構を活用します。



42,552千円

○ 『民家園』の活用推進

民家園に現存する10棟の文化財を保存・活用し、魅力を発信します。

・旧奈良輪家、旧算家宿店の保存改修
・地域一帯で盛り上げる園内行事開催



75,936千円

○ ふくぶん(福島らしい文化)の発信

5,000千円



福島が誇る文化施設(古関裕而記念館・音楽堂、写真美術館、じょーもぴあ宮畑、民家園)から、「福島らしい文化」の魅力を広く発信し、「福島に生まれ育って本当によかった」と思えるまちを目指します。

6. 人にやさしいデジタル化

14事業 3億6,691万円

(1) 暮らしの向上

・地域総ぐるみの新たな枠組みを設けて、苦手な方にも優しくサポートしてデジタル化を強力に進めます。

○ 公共施設予約システム運営(再掲) 28,126千円

新 高齢者・初心者向けスマートフォン講座開催(再掲) 2,460千円

スマホ、メール、LINEの使い方など、ICT機器を活用した生活の楽しさや便利さを伝えます。また、使い方を支援できるサポーターの育成にも取り組みます。



拡 LINEによる相談・講座の予約(再掲) 7,969千円

市LINE公式アカウントに、カレンダーで空き状況を確認しながら、相談や各種講座がオンラインで予約できる機能を追加します。

拡 ホームページ内のかんたん検索 3,333千円

新 窓口手続きのデジタル化(再掲) 948千円

拡 電子町内会活動促進(再掲) 3,966千円

新 電子図書館の開設(再掲) 47,400千円

拡 健康づくりで競争(共創)チャレンジ 1,452千円

○ マイナンバーカード取得促進 126,712千円

○ マイナポイント登録設定支援 14,576千円

新 シルバー人材センターICT推進支援 180千円



(2) 経済の向上

・デジタル化への対応が不得手な事業者へも優しくサポートして、デジタル化を強力に進めます。

○ 新たなビジネスモデル創出支援(再掲) 50,000千円

感染防止対応枠(補助率1/2)、デジタル化推進枠(補助率2/3)に加え、開業から1年未満である事業者向けの新規創業枠を設け、コロナ禍に対応できるビジネスモデルの構築を支援します。

デジタル化推進枠

補助率2/3以内 補助下限5万円 上限30万円
(デジタル化に伴う工事の場合は、補助上限50万円)

【補助対象事業の例】

- ・テレワーク導入にかかる機器等リース料
- ・電子マネー決済機能付きレジの導入
- ・各席からのオーダーシステムの導入
- ・デジタル化に伴う研修費用、コンサル費用

感染防止対応枠

補助率1/2以内 補助下限5万円 上限20万円
(換気・空調工事の場合は、補助上限50万円)

【補助対象事業の例】

- ・換気機能付きエアコンの導入
- ・空気清浄機、オゾン発生機器の導入
- ・サーマルカメラ、非接触型体温計の導入
- ・新しい生活様式に対応するための改修費用

新 新事業・創業支援枠(開業後1年未満もしくは補助対象期間内に創業する事業者)

補助率2/3以内 補助下限5万円 補助上限30万円

【補助対象事業の例】

デジタル化推進枠、感染防止対応枠どちらの事業も対象とします。
(新事業に伴う工事、換気空調工事の場合は補助上限50万円)

新 電子入札の導入(再掲) 56,589千円

現在、本庁舎において紙により実施している入札手続きをインターネットを利用して電子的に実施し、事業者の負担軽減と利便性向上を図ります。

新 デジタルスタンプラリーの開催(再掲) 23,203千円

令和4年3月～7月は、デジタルエールポイント×花回廊(一部12月補正で予算計上済)
8月～11月は福島圏域道の駅等デジタルスタンプラリーを開催し、各施設のにぎわい創出と販売促進、デジタルデバイスの普及推進を図ります。

7. 移住定住の促進、女性活躍社会の形成

16事業 1億5,382万円

(1) オフィス移転、移住定住推進パッケージ

・コロナ禍における地方へのオフィス移転の機運の高まりを踏まえ、交通アクセスの良い本市へのオフィス移転や家族を含めた移住支援を強化します。

新 クリエイティブビジネスサロン運営(再掲) 21,983千円

拡 『ゆとり満喫福島オフィス』開設支援事業(再掲) 13,657千円

【本社機能全部移転/支社開設支援】
○改修費
○設備購入費
○オフィス賃料

【ゆとり満喫
エールパスポート】
☑️転入支援
☑️家族引越し支援
☑️農業満喫
☑️温泉満喫
☑️果物満喫

温泉・農業・くだものが満喫できる「ゆとり満喫福島オフィス」の開設支援を行い、首都圏等からのオフィス移転や移住・定住を促進します。

(湯めぐりパスポート)



(わいわい市民農園)



(くだものの木オーナー)



(2) 女性活躍の推進

新 女性の起業チャレンジ応援パッケージ 500千円

拡 働く女性応援 3,167千円

拡 女性の資格取得支援(ひとり親) 14,767千円



移住定住推進パッケージ

拡 おためし移住体験 570千円

○ 移住定住相談支援 1,500千円

○ 広報推進 5,000千円

拡 移住新生活応援 10,943千円

引っ越しに係る経費として、①県外移住者へは10万円
②市外移住者へは5万円を補助します。
また、市の支援メニューを活用した移住者へは湯めぐりパスポートを贈呈します。

○ 多世帯同居・近居支援 4,050千円

拡 UIJターン移住支援 12,900千円

拡 空家等対策推進 13,530千円



♡結婚をサポート♡

新 恋きゅんネット♡恋活エール事業 2,200千円

○ 出会いの場創出 3,391千円

○ 結婚新生活応援 43,650千円

結婚に伴う経済的負担を軽減するため、新婚世帯のスタートアップを支援します。
①マイホーム購入・リフォーム 30万円
②賃貸住宅スタートアップ 15万円
③家賃最長3年間 72万円(3年は市独自)




新 二十歳の同窓会2021プロジェクト 2,021千円

8. 地域経営のリノベーション


21事業 14億7,140万円

(1)『共創』によるまちづくり

・相手に響く情報の伝達と直接対話により市民・企業とのコミュニケーションを図り、「共創」と「連携」によるまちづくりに取り組みます。

<ul style="list-style-type: none"> ⊕ 共創のまちづくり推進費 ○ ふくしま元気トークの開催 ⊕ 地域コミュニティ等支援 ⊕ 地域おこし協力隊の活用(5地区) 		<p>796千円</p> <p>434千円</p> <p>18,132千円</p> <p>18,171千円</p>
--	--	---

(2)女性活躍の推進(再掲)

<ul style="list-style-type: none"> ⊕ 女性の起業チャレンジ応援パッケージ ⊕ 働く女性応援 ⊕ 女性の資格取得支援(ひとり親) 		<p>500千円</p> <p>3,167千円</p> <p>14,767千円</p>
---	---	---


(3)持続可能な行財政経営

<ul style="list-style-type: none"> ⊕ 連携中枢都市圏の形成による広域的発展 ふくしま圏域9市町村の持つ都市機能や強み・特長等を生かし、魅力あふれる圏域の実現に向けた取組を計画的に推進します。 ⊕ 公共施設等長寿命化対策 	<p>6,400千円</p> <p>879,320千円</p>
---	---------------------------------

(4)デジタル化の推進～オンラインファースト～

市民サービスの向上

・ICTを積極的に活用し、デジタル化による市民サービスの向上を目指します。

<ul style="list-style-type: none"> ⊕ LINEによる相談・講座の予約(再掲) ⊕ ももりんシェアサイクル運営(再掲) ⊕ 窓口手続きのデジタル化(再掲) ○ マイナンバーカード取得促進(再掲) ○ 窓口手数料のキャッシュレス化(再掲) ⊕ 電子町内会(再掲) ⊕ 電子図書館の開設(再掲) 		<p>7,969千円</p> <p>21,077千円</p> <p>948千円</p> <p>126,712千円</p> <p>3,960千円</p> <p>3,966千円</p> <p>47,400千円</p>
---	---	--

業務の効率化

<ul style="list-style-type: none"> ⊕ 自治体オンライン手続推進 ○ RPA導入推進 ○ AI-OCR推進 ○ 住民情報システム等の再構築 ⊕ ICT人材育成(再掲) 		<p>16,272千円</p> <p>10,000千円</p> <p>2,392千円</p> <p>285,439千円</p> <p>3,578千円</p>
--	---	--

Ⅲ 将来にわたり持続可能な財政運営の推進（資料編）

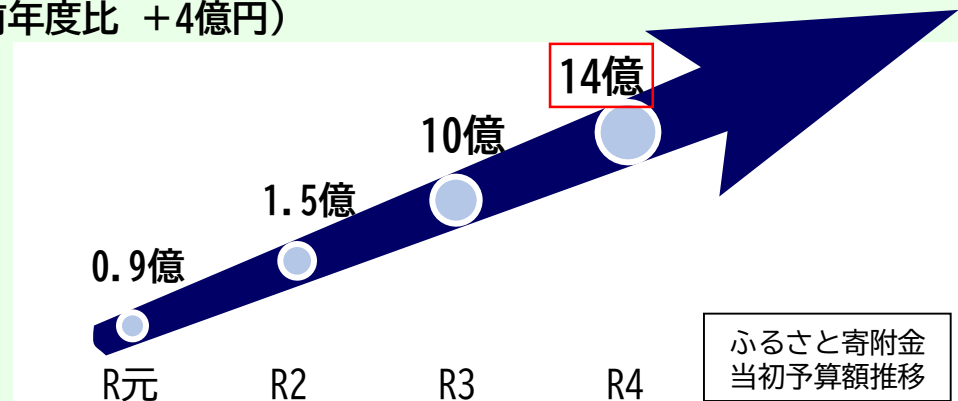
1 財源の確保

将来にわたり持続可能な財政運営を維持するとともに、社会情勢の変化や新たな地域の課題に対応する緊急度・優先度の高い事業に予算を振り向けるため、市税やふるさと寄付金など自主財源の確保、既存事業のコストや効果の検証を踏まえた見直し、交付税措置のある有利な市債の活用に努めました。

（1）自主財源の確保

- **市税の回復** 予算額 400億円
歳入の根幹となる市税は、企業の業績の増益等から、令和2年度を上回る水準に回復すると見込んでいます。
(実質的な対前年度比 +16億1,000万円)

- **ふるさと寄附金の拡大** 予算額 14億円
市のまちづくりの方向性や魅力をPRし、賛同と共感を得ながら、引き続きふるさと寄附金の拡大を目指します。
(対前年度比 +4億円)



- **広告料収入の拡大** 予算額 650万円
新たに福島駅西口エールビジョンで広告料収入を確保します。
- **ネーミングライツ収入の確保** 予算額 1,716万円
市施設のネーミングライツで引き続き収入を確保しました。

【導入施設】	キョウワグループ・テルサホール	ふくしん夢の音楽堂
	NCVふくしまパークゴルフ場	福島トヨタ クラウンアリーナ
	NCVふくしまアリーナ	ふくしま児童公園SFCももりんパーク

（2）事務事業の見直しによる財源の捻出

- 経常的な事務事業は、扶助費などの義務的経費等を除いてマイナス5%シーリングの枠配分方式を導入し、各部局における主体的な見直しを行いました。
- 事業の実績・効果とコストの検証を踏まえた事業の見直し・再構築に努めました。

➡ **削減額 約2億5,000万円**

(3) 有利な市債の活用

- 支所や学校などの公共施設、道路や河川などのインフラ施設の整備に充当する市債について、国の地方債計画から地方交付税措置のある有利なものを中心に活用し、実質的な将来負担の軽減に努めました。

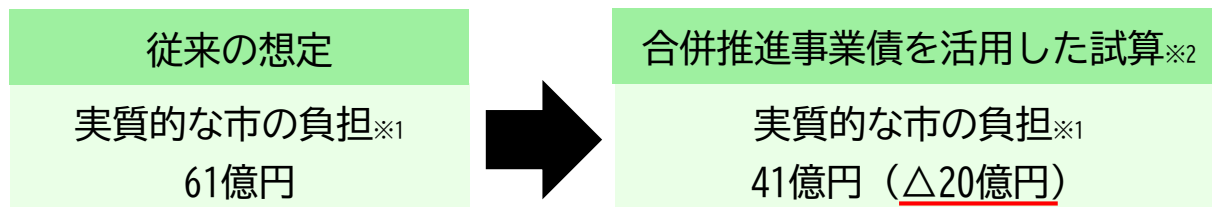
(単位 千円)

区分	予算額	比率	措置見込額 (元金ベース)	措置率
臨時財政対策債	3,400,000	32.1%	3,400,000	100.0%
事業充当の市債	7,204,300	67.9%	2,412,519	33.5%
交付税措置あり	5,490,700	51.8%	2,412,519	43.9%
交付税措置なし	1,713,600	16.2%	-	0.0%
計	10,604,300	100.0%	5,812,519	54.8%

(実質的な借金) 4,791,781 45.2%

- 令和4年度から本格化する(仮称)市民センター建設の財源を、当初予定していた基金の繰入から、地方交付税措置のあるより有利な市債の充当に振り替えることで、財政負担の軽減を図りました。

(全体事業費 70億円)



※1 全体事業費から国県支出金及び市債償還に対する地方交付税措置見込額を除いた額

※2 新たな財源(再生可能エネルギー導入にかかる県補助)も見込む

なお、当初繰入を予定していた庁舎整備基金は、減債基金に積み替え、市民センター建設に活用した市債の後年度における元利償還に充てていきます。

(4) 基金の活用

財政調整基金をはじめとする各種基金を有効に活用しました。

17基金 28億4,803万円

財政調整基金繰入金	1,500,000 千円
環境基金繰入金	418,545 千円
減債基金繰入金	417,568 千円
復興基金繰入金	158,071 千円
庁舎整備基金繰入金	133,805 千円
森林環境整備基金繰入金	55,078 千円
子ども・子育て基金繰入金	45,536 千円
産業振興基金繰入金	41,954 千円
その他9基金	77,475 千円
計	2,848,032 千円

主な基金の年度末現在高

(単位 千円)

	財政調整基金	減債基金
H30	7,011,798	2,755,880
R元	6,560,845	2,756,250
R2	6,602,511	2,466,157
R3	6,625,963	4,166,396
R4	5,126,957	3,845,653

2 一般会計歳入の状況

一般会計の歳入は、新型コロナウイルス感染症の影響により昨年度に大きく落ち込んだ市税がコロナ前の水準に回復する見通しです。そのほか、地方交付税等を適切に見込むとともに、国県の補助金、地方交付税措置のある有利な市債などの活用により歳入の確保に努めておりますが、不足する財源については財政調整基金を繰り入れます。

(1) 主な歳入の状況

① 市税 400億円 (+40億円 +11.1%)

- **市民税** 180億1,000万円 (+11億7,100万円)
 - ・ 製造業の設備投資の増加や金融機関の増益の見込みにより増
- **固定資産税** 163億5,800万円 (+24億5,600万円)
 - ・ 新型コロナウイルス感染症対策による特例減免（家屋・償却資産）の終了や土地評価額の据置措置の一部廃止による増
 - ・ 新築家屋分による増

② 地方交付税 108億円 (+21億円 +24.1%)

- **普通交付税** 95億円 (+23億円)
 - ・ 国の地方財政計画を反映した臨時財政対策債振替相当額の減による増

※ 市税の増等により臨時財政対策債振替前の財源不足額は減少（△10億円）

③ 市債 106億430万円 (△42億1,580万円 △28.4%)

- **臨時財政対策債** 34億円 (△33億円)
 - ・ 国の地方財政計画における臨時財政対策債の減
- **事業充当の市債** 72億430万円 (△9億1,580万円)
 - ・ 新最終処分場や地域振興施設「道の駅ふくしま」の整備完了による減
 - ・ 世代間の公平性に配慮しながらも、地方交付税措置のある有利な市債に厳選したことによる減

④ 国庫支出金 231億4,404万円 (+37億4,793万円 +19.3%)

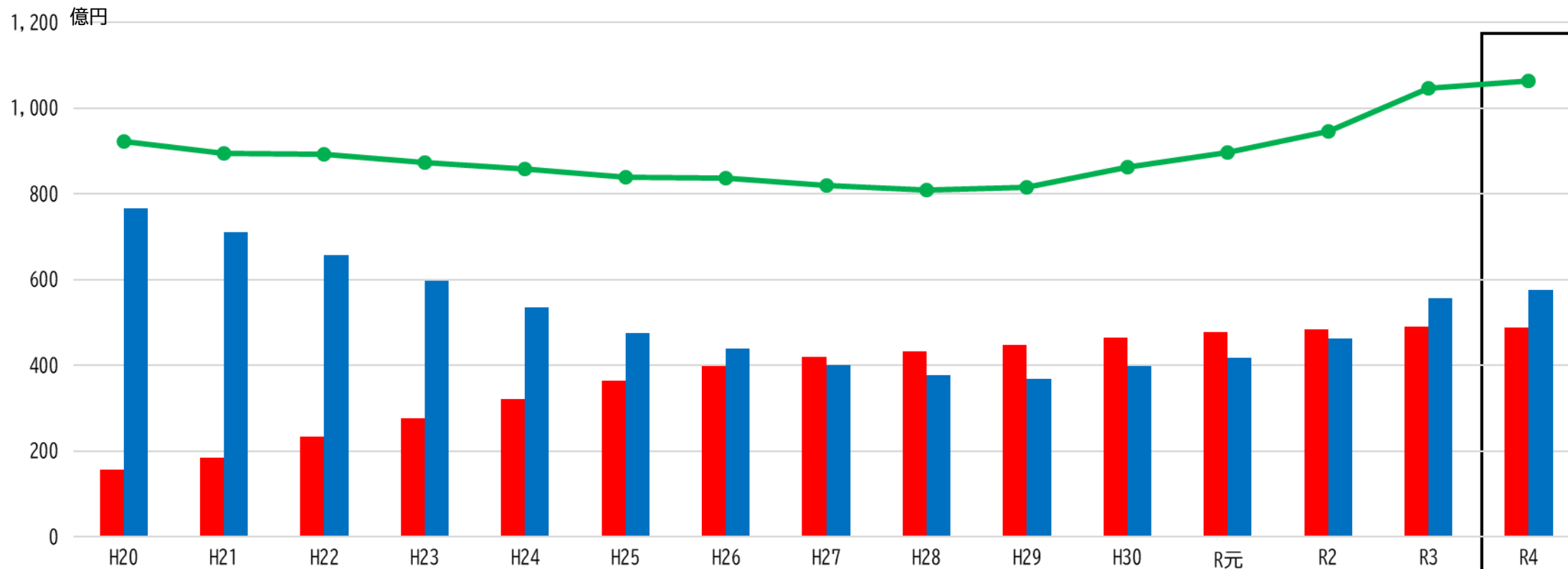
- **新型コロナウイルスワクチン接種関連補助金** 14億8,071万円 (皆増)
- **都市再開発事業費補助金** (福島駅東口地区市街地再開発関連) 25億1,900万円 (+10億592万円)
- **新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金** 11億951万円 (+8,325万円)

(2) 市債残高の推移

市債の令和4年度末残高は、前年度末より16億円増の1,064億円となる見込みです。

元利償還金の100%を地方交付税で措置される臨時財政対策債が市債残高の約半分（45.9%）を占めていますが、学校耐震化・改築や福島体育館整備、道の駅整備等により事業充当市債等の残高も平成29年度末を底に上昇に転じています。福島駅東口地区市街地再開発をはじめとする大型事業の進捗や学校改修・改築等により今後も市債残高の増加見込まれます。

(単位 億円)



年度末市債残高	923	895	892	872	857	840	837	820	810	816	863	896	946	1,047	1,064
うち臨時財政対策債	157	185	234	276	322	365	397	420	433	447	465	477	483	491	488
うち事業充当市債等	766	711	658	597	535	475	440	400	377	369	398	419	463	557	576

(3) 科目別歳入予算

(単位 千円、%)

款	令和4年度		令和3年度		増△減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	予算額	増減率
1 市税	40,000,000	34.5	36,000,000	32.1	4,000,000	11.1
2 地方譲与税	1,079,813	0.9	1,016,352	0.9	63,461	6.2
3 利子割交付金	30,000	0.0	26,000	0.0	4,000	15.4
4 配当割交付金	110,000	0.1	88,000	0.1	22,000	25.0
5 株式等譲渡所得割交付金	55,000	0.0	56,000	0.0	△ 1,000	△ 1.8
6 法人事業税交付金	684,000	0.6	480,000	0.4	204,000	42.5
7 地方消費税交付金	7,018,000	6.1	6,520,000	5.8	498,000	7.6
8 ゴルフ場利用税交付金	6,000	0.0	5,000	0.0	1,000	20.0
9 環境性能割交付金	76,000	0.1	66,000	0.1	10,000	15.2
10 国有提供施設等所在市町村助成交付金	1,906	0.0	1,967	0.0	△ 61	△ 3.1
11 地方特例交付金	240,169	0.2	2,644,000	2.4	△ 2,403,831	△ 90.9
12 地方交付税	10,800,000	9.3	8,700,000	7.7	2,100,000	24.1
13 交通安全対策特別交付金	42,000	0.0	41,000	0.0	1,000	2.4
14 分担金及び負担金	611,383	0.5	605,472	0.5	5,911	1.0
15 使用料及び手数料	1,545,919	1.3	1,569,537	1.4	△ 23,618	△ 1.5
16 国庫支出金	23,144,039	20.0	19,396,105	17.3	3,747,934	19.3
17 県支出金	12,509,327	10.8	12,605,150	11.2	△ 95,823	△ 0.8
18 財産収入	430,204	0.4	180,134	0.2	250,070	138.8
19 寄附金	1,661,764	1.4	1,271,617	1.1	390,147	30.7
20 繰入金	2,945,659	2.6	3,463,337	3.1	△ 517,678	△ 14.9
21 繰越金	1	0.0	1	0.0	-	0.0
22 諸収入	2,304,516	2.0	2,744,228	2.5	△ 439,712	△ 16.0
23 市債	10,604,300	9.2	14,820,100	13.2	△ 4,215,800	△ 28.4
合計	115,900,000	100.0	112,300,000	100.0	3,600,000	3.2

(4) 自主財源と依存財源の内訳

区 分	除染関連事業の財源3,240,000千円を除いた場合 (単位 千円、%)						
	令和4年度			令和3年度		増 △ 減	
	予算額	構成比		予算額	構成比	予算額	増減率
			除染事業除き				
自主財源							
市税	40,000,000	34.5	35.5	36,000,000	32.1	4,000,000	11.1
分担金及び負担金	611,383	0.5	0.5	605,472	0.5	5,911	1.0
使用料及び手数料	1,545,919	1.3	1.4	1,569,537	1.4	△ 23,618	△ 1.5
財産収入	430,204	0.4	0.4	180,134	0.2	250,070	138.8
寄附金	1,405,785	1.2	1.3	1,005,817	0.9	399,968	39.8
繰入金	2,945,659	2.5	2.6	3,463,337	3.1	△ 517,678	△ 14.9
繰越金	1	0.0	0.0	1	0.0	-	0.0
諸収入	2,264,626	2.0	2.0	2,597,277	2.3	△ 332,651	△ 12.8
小 計	49,203,577	42.4	43.7	45,421,575	40.5	3,782,002	8.3
依存財源							
地方譲与税	1,079,813	0.9	1.0	1,016,352	0.9	63,461	6.2
利子割交付金	30,000	0.0	0.0	26,000	0.0	4,000	15.4
配当割交付金	110,000	0.1	0.1	88,000	0.1	22,000	25.0
株式等譲渡所得割交付金	55,000	0.1	0.1	56,000	0.1	△ 1,000	△ 1.8
法人事業税交付金	684,000	0.6	0.6	480,000	0.4	204,000	42.5
地方消費税交付金	7,018,000	6.1	6.2	6,520,000	5.8	498,000	7.6
ゴルフ場利用税交付金	6,000	0.0	0.0	5,000	0.0	1,000	20.0
環境性能割交付金	76,000	0.1	0.1	66,000	0.1	10,000	15.2
国有提供施設等所在市町村助成交付金	1,906	0.0	0.0	1,967	0.0	△ 61	△ 3.1
地方特例交付金	240,169	0.2	0.2	2,644,000	2.4	△ 2,403,831	△ 90.9
地方交付税	10,800,000	9.3	9.6	8,700,000	7.7	2,100,000	24.1
交通安全対策特別交付金	42,000	0.0	0.0	41,000	0.0	1,000	2.4
国庫支出金	23,144,039	20.1	20.6	19,396,105	17.3	3,747,934	19.3
県支出金	12,509,327	10.8	8.2	12,605,150	11.2	△ 95,823	△ 0.8
寄附金	255,979	0.2	0.2	265,800	0.2	△ 9,821	△ 3.7
諸収入	39,890	0.0	0.0	146,951	0.1	△ 107,061	△ 72.9
市債	10,604,300	9.1	9.4	14,820,100	13.2	△ 4,215,800	△ 28.4
小 計	66,696,423	57.6	56.3	66,878,425	59.5	△ 182,002	△ 0.3
合 計	115,900,000	100.0	100.0	112,300,000	100.0	3,600,000	3.2

3 一般会計歳出の状況

一般会計歳出予算は、前年度と比べて36億円（3.2%）増の1,159億円となりました。除染関連事業を除くと46億円（4.2%）増の1,127億円で、過去最大となっています。

これは、ワクチン接種関連をはじめとする新型コロナウイルス感染症対策費を36.6億円（対前年度+23.5億円）計上していることや、福島駅東口地区市街地再開発事業（50.4億円、対前年比+28.3億円）の本格化による土木費の増、障害者自立支援事業（49.4億円、対前年比+5.2億円）などによる民生費の増、ふくしま支援学校校舎等改築事業（6.1億円、対前年度比+5.4億円）をはじめとする学校施設の改修・改築による教育費の増、市債の償還にかかる公債費（93.4億円、対前年比+8.9億円）の増が主な要因です。

(1) 科目別歳出予算と主な増減理由

款	令和4年度		令和3年度		増 △ 減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	予算額	増減率
1 議会費	644,786	0.6	657,484	0.6	△ 12,698	△ 1.9
2 総務費	11,630,263	10.0	11,198,369	10.0	431,894	3.9
3 民生費	43,276,119	37.3	42,065,726	37.4	1,210,393	2.9
4 衛生費	11,470,389	9.9	11,119,570	9.9	350,819	3.2
5 労働費	167,275	0.1	108,695	0.1	58,580	53.9
6 農林水産業費	2,044,088	1.8	2,072,231	1.8	△ 28,143	△ 1.4
7 商工費	2,954,343	2.5	3,852,872	3.4	△ 898,529	△ 23.3
8 土木費	15,377,159	13.3	13,210,114	11.8	2,167,045	16.4
9 消防費	3,179,362	2.7	3,341,766	3.0	△ 162,404	△ 4.9
10 教育費	12,252,775	10.6	11,638,603	10.4	614,172	5.3
11 災害復旧費	3,240,000	2.8	4,266,000	3.8	△ 1,026,000	△ 24.1
12 公債費	9,363,441	8.1	8,468,570	7.5	894,871	10.6
13 予備費	300,000	0.3	300,000	0.3	-	0.0
合計	115,900,000	100.0	112,300,000	100.0	3,600,000	3.2

(単位 千円、%)

主な増減理由

2 総務費

ふるさと納税促進事業費の増
（仮称）市民センター整備費の増

3 民生費

障害者自立支援事業費の増
住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業費の増

7 商工費

地域振興施設「道の駅」整備事業費の減
中小企業振興預託金の減

8 土木費

福島駅東口地区市街地再開発事業費の増

10 教育費

ふくしま支援学校校舎等改築事業費の増
学校施設リフレッシュ事業費の増

11 災害復旧費

除去土壌搬出等推進事業費の減

(2) 性質別歳出予算と主な増減理由

(単位 千円、%)

性 質 別	令和4年度		令和3年度		増 △ 減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	予算額	増減率
義務的経費						
人件費	19,339,338	16.7	19,401,757	17.3	△ 62,419	△ 0.3
扶助費	26,412,569	22.8	25,973,839	23.1	438,730	1.7
公債費	9,367,508	8.1	8,472,637	7.5	894,871	10.6
小 計	55,119,415	47.6	53,848,233	47.9	1,271,182	2.4
消費的経費						
物件費	20,545,049	17.7	18,138,997	16.2	2,406,052	13.3
維持補修費	1,610,065	1.4	1,693,774	1.5	△ 83,709	△ 4.9
補助費等	9,234,318	8.0	8,648,199	7.7	586,119	6.8
小 計	31,389,432	27.1	28,480,970	25.4	2,908,462	10.2
投資的経費						
普通建設事業費(補助)	10,023,660	8.6	9,534,997	8.5	488,663	5.1
普通建設事業費(単独)	4,953,128	4.3	4,969,310	4.4	△ 16,182	△ 0.3
小 計	14,976,788	12.9	14,504,307	12.9	472,481	3.3
災害復旧費						
災害復旧費(補助)	3,240,000	2.8	4,216,000	3.7	△ 976,000	△ 23.1
災害復旧費(単独)	17,479	0.0	67,479	0.1	△ 50,000	△ 74.1
小 計	3,257,479	2.8	4,283,479	3.8	△ 1,026,000	△ 24.0
その他						
積立金	173,832	0.1	62,870	0.1	110,962	176.5
投資及び出資金	90	0.0	100	0.0	△ 10	△ 10.0
貸付金	920,736	0.8	1,128,240	1.0	△ 207,504	△ 18.4
繰出金	9,762,228	8.4	9,691,801	8.6	70,427	0.7
予備費	300,000	0.3	300,000	0.3	-	0.0
小 計	11,156,886	9.6	11,183,011	10.0	△ 26,125	△ 0.2
合 計	115,900,000	100.0	112,300,000	100.0	3,600,000	3.2

主な増減理由

扶助費

障害者自立支援事業費の増

公債費

長期債償還元金の増

物件費

新型コロナウイルスワクチン接種・体制確保事業の増

P C R検査事業費の増

ふるさと納税促進事業費の増

補助費等

住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業費の増

保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例補助金の増

普通建設費

福島駅東口地区市街地再開発事業費の増

小・中学校屋内運動場改築事業費の増

ふくしま支援学校校舎等改築事業費の増

新最終処分場整備事業費の減

高齢者福祉施設整備費補助金の減

災害復旧費

除去土壌搬出等推進事業費の減

積立金

減債基金積立金の増

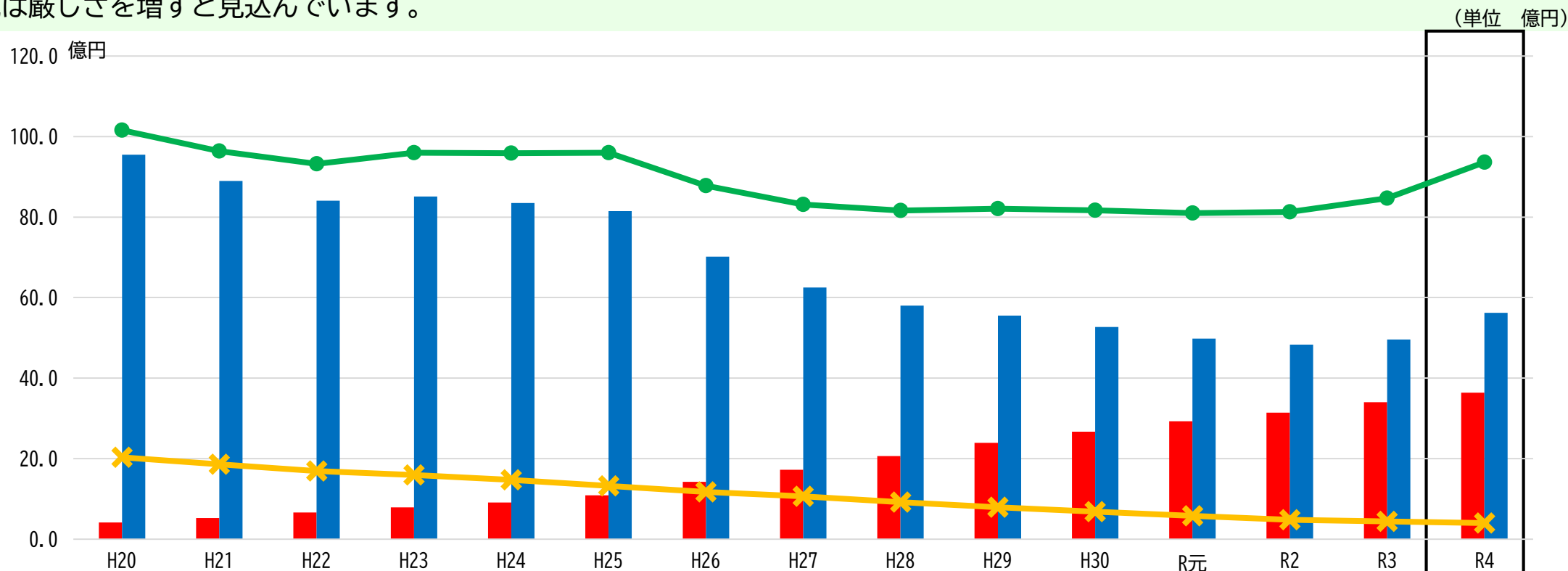
貸付金

中小企業振興預託金の減

(3) 公債費の推移

令和4年度の公債費予算額は、前年度より8.9億円（10.6%）増の93.6億円となりました。

臨時財政対策債の償還額が一貫して増加しています。また、それ以外の事業充当市債等の償還額は、繰上償還や長期金利の低下もあって平成20年度から令和2年度までで半減しましたが、令和3年度から上昇に転じています。今後も大型事業での市債借入が予定されていることから公債費は上昇し、財政状況は厳しさを増すと見込んでいます。



公債費	101.6	96.4	93.2	96.0	95.9	96.0	87.8	83.1	81.6	82.1	81.7	81.0	81.3	84.7	93.6
うち臨時財政対策債	4.1	5.2	6.6	7.9	9.1	10.9	14.2	17.2	20.6	23.9	26.7	29.3	31.4	34.0	36.4
うち臨時財政対策債以外	95.5	89.0	84.1	85.1	83.5	81.5	70.2	62.5	58.0	55.5	52.7	49.8	48.3	49.6	56.2
うち利子（再掲）	20.3	18.6	16.9	15.9	14.7	13.2	11.7	10.6	9.2	7.9	6.8	5.8	4.8	4.4	4.0

※ 繰上償還及び一時借入金利子を除く。

(4) 地方消費税交付金（社会保障財源分）が充てられる社会保障施策経費

地方消費税の税率引上分による税収は、年金・医療・介護・少子化対策などの社会保障施策に必要な経費に充てることとされています。

令和4年度歳入における地方消費税交付金のうち、社会保障財源分は約37.4億円を見込んでおり、この収入は下記の社会保障施策の一般財源に充てております。

(単位 千円)

事業名	予算額	財源内訳	
		特定財源	一般財源
社会福祉費	社会福祉総務費	907,341	813,601
	国民健康保険事業費特別会計繰出金	1,892,731	1,030,694
	障害者福祉費	6,872,448	2,107,342
	老人福祉費	1,388,896	908,230
	介護保険費	4,232,198	3,970,324
	後期高齢者医療費	3,491,283	2,967,123
	小計	18,784,897	11,797,314
児童福祉費	児童福祉総務費	2,003,140	1,129,855
	児童措置費	16,381,484	5,583,455
	児童福祉施設費	125,234	115,561
	小計	18,509,858	6,828,871
生活保護費	生活保護総務費	333,341	288,414
	扶助費	4,821,031	1,205,258
	小計	5,154,372	1,493,672
保健衛生費	保健衛生総務費	698,068	685,393
	保健所費	2,782,001	1,024,337
	保健指導費	622,718	458,060
	健康増進費	872,976	733,206
	予防費	933,789	920,909
	小計	5,914,224	3,821,905
幼稚園費	幼稚園費	453,167	423,134
合計	48,816,518	24,451,622	24,364,896

5 特別会計予算と事業会計予算

(1) 会計別予算額

(単位 千円、%)

区 分	令和4年度	令和3年度	増△減	
			増減額	増減率
一般会計	115,900,000	112,300,000	3,600,000	3.2
特別会計				
1 国民健康保険事業費	23,472,993	23,325,384	147,609	0.6
2 飯坂町財産区	117,176	96,957	20,219	20.9
3 公設地方卸売市場事業費	210,733	283,703	△ 72,970	△ 25.7
4 土地区画整理事業費	18,782	29,386	△ 10,604	△ 36.1
5 介護保険事業費	27,579,986	27,572,327	7,659	0.0
6 庁舎整備基金運用	1,001,000	1,001,000	0	0.0
7 後期高齢者医療事業費	3,964,342	3,665,859	298,483	8.1
8 青木財産区	1,854	1,854	0	0.0
9 工業団地整備事業費	53,547	122,288	△ 68,741	△ 56.2
10 母子父子寡婦福祉資金貸付事業費	19,366	13,909	5,457	39.2
小計	56,439,779	56,112,667	327,112	0.6
事業会計				
1 水道事業	11,214,478	10,471,515	742,963	7.1
2 下水道事業	14,178,487	12,840,855	1,337,632	10.4
3 農業集落排水事業	283,317	283,858	△ 541	△ 0.2
小計	25,676,282	23,596,228	2,080,054	8.8
合計	198,016,061	192,008,895	6,007,166	3.1

特別会計の主な増減理由

- 1 国民健康保険事業費
一般被保険者療養給付費の増
- 2 飯坂財産区
富士屋源泉等の供給設備整備費の増
- 3 公設地方卸売市場事業費
市場施設再整備計画事業費の減
- 4 土地区画整理事業費
福島北土地区画整理事業費における長期償還元金の減
- 5 介護保険事業費
介護サービス等給付費の増
包括的支援事業の一般会計への移行による減
- 7 後期高齢者医療事業費
後期高齢者医療保険料納付金の増
- 9 工業団地整備事業費
工業団地整備事業費の減
第2期工業団地整備事業費の増
- 10 母子父子寡婦福祉資金貸付事業費
剰余金基準超過による国への償還金の増

(2) 事業会計予算

① 水道事業会計

■ 予算額

(単位 千円)

区分	令和4年度	令和3年度	増△減	
			増減額	増減率
収益的収入	7,741,721	7,723,649	18,072	0.2%
収益的支出	7,739,923	7,215,118	524,805	7.3%
資本的収入	1,353,257	1,108,305	244,952	22.1%
資本的支出	3,474,555	3,256,397	218,158	6.7%
支出合計	11,214,478	10,471,515	742,963	7.1%

■ 主な事業

(単位 千円)

ふくしま水道事業ビジョン 4つの基本方針	予算額	説明
1 安全でおいしい水の供給	188,734	水質管理を徹底し、いつでも良質で安全なおいしい水を供給できる水道を目指します。 ①水安全計画に基づく水質管理
2 災害に強い水道の構築	2,453,706	適切な施設管理と維持管理の強化に努め相互応援体制の確立を図り、災害に強い水道を目指します。 ①老朽管更新事業 ②水道施設の長寿命化 ③基幹施設・基幹管路耐震化事業 ④災害対策の強化
3 持続可能な水道経営	1,354,842	お客さまニーズの把握と健全経営に努め、持続可能な水道経営を目指します。 ①有収率向上対策の強化 ②廃止施設の整理推進 ③技術継承・人材育成 ④戦略的広報広聴の推進
4 地球にやさしい水道へ挑戦	2,253	良質な水道水の源となる水源を今後も保護しながら、自然環境への負荷低減を目指します。 ①水源保全活動団体への助成

② 下水道事業会計

■ 予算額

(単位 千円)

区分	令和4年度	令和3年度	増△減	
			増減額	増減率
収益的収入	7,547,842	7,382,664	165,178	2.2%
収益的支出	6,986,430	6,789,168	197,262	2.9%
資本的収入	4,473,764	3,347,032	1,126,732	33.7%
資本的支出	7,192,057	6,051,687	1,140,370	18.8%
支出合計	14,178,487	12,840,855	1,337,632	10.4%

■ 主な事業

(単位 千円)

事業名	予算額	説明
1 管路建設事業	1,465,669 【3月補正前倒し】52,000	未普及地区の下水道整備（施工延長L=3,370m）を実施します。また、集中豪雨に伴う浸水被害の軽減を図るため、雨水渠の詳細設計・改修工事及び樋管改修工事を実施します。
2 雨天時浸入水対策事業	20,000	分流式下水道地区における雨天時の下水流量増加に起因する汚水管からの溢水事故等の防止や処理場施設の安全確保のため、汚水管へ雨水が浸入している地区の絞り込み調査を実施します。
3 ポンプ場等耐水化事業	30,000	河川氾濫等の災害時における下水道機能への影響を最小限に抑えるため、下水道施設の耐水化対策の詳細設計を実施します。（市内6ヶ所）
4 下水道ストックマネジメント事業	30,000	ストックマネジメント計画に基づき管渠のカメラ調査等を実施し、異状箇所等の把握を行います。
5 水洗化普及対策事業	5,707	未水洗化世帯への下水道接続指導及び排水設備設置資金の融資に対する利子補給を実施します。

③ 農業集落排水事業会計

■ 予算額

(単位 千円)

区分	令和4年度	令和3年度	増△減	
			増減額	増減率
収益的収入	148,966	156,677	△ 7,711	△ 4.9%
収益的支出	148,966	156,677	△ 7,711	△ 4.9%
資本的収入	76,386	68,060	8,326	12.2%
資本的支出	134,351	127,181	7,170	5.6%
支出合計	283,317	283,858	△ 541	△ 0.2%